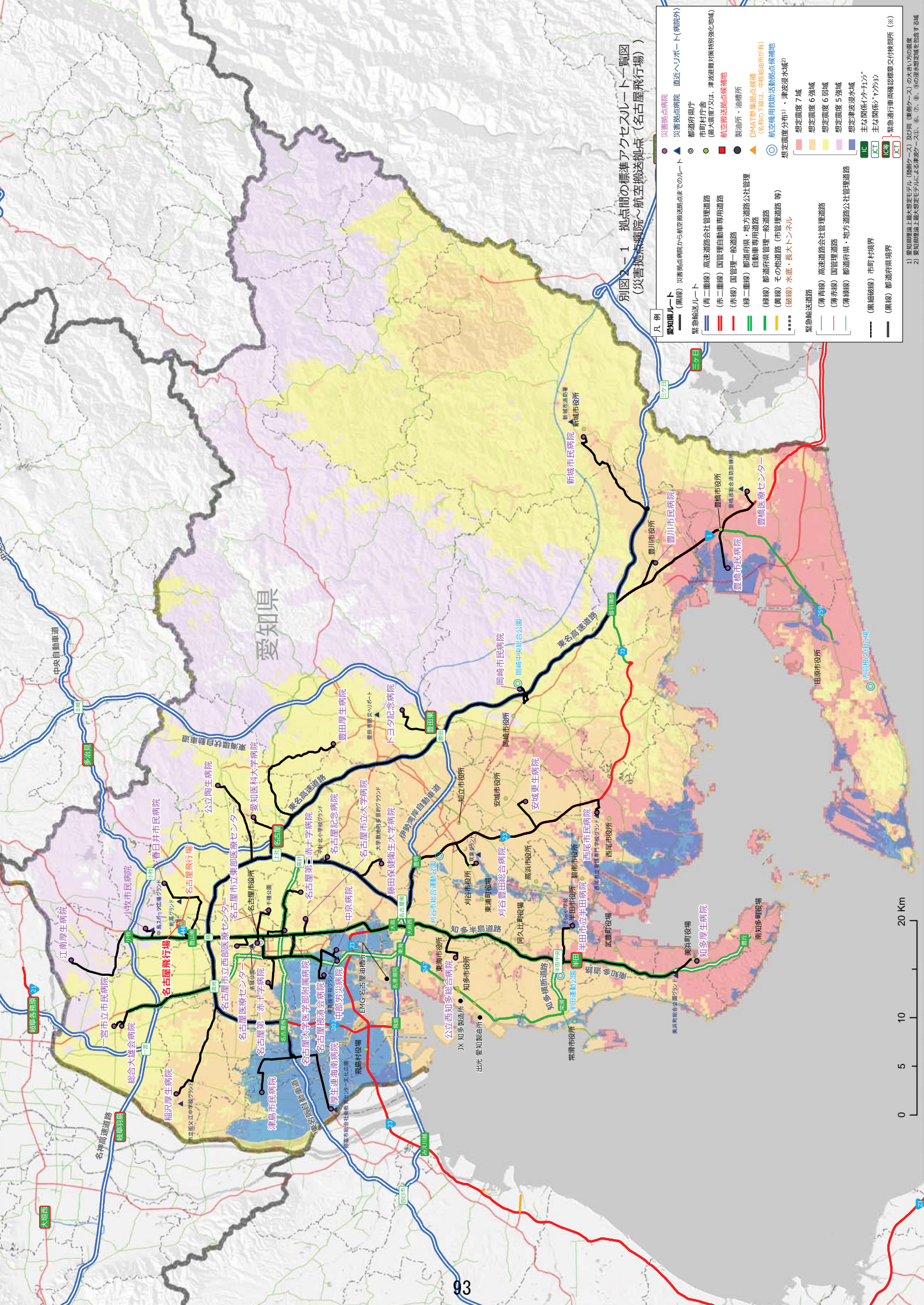
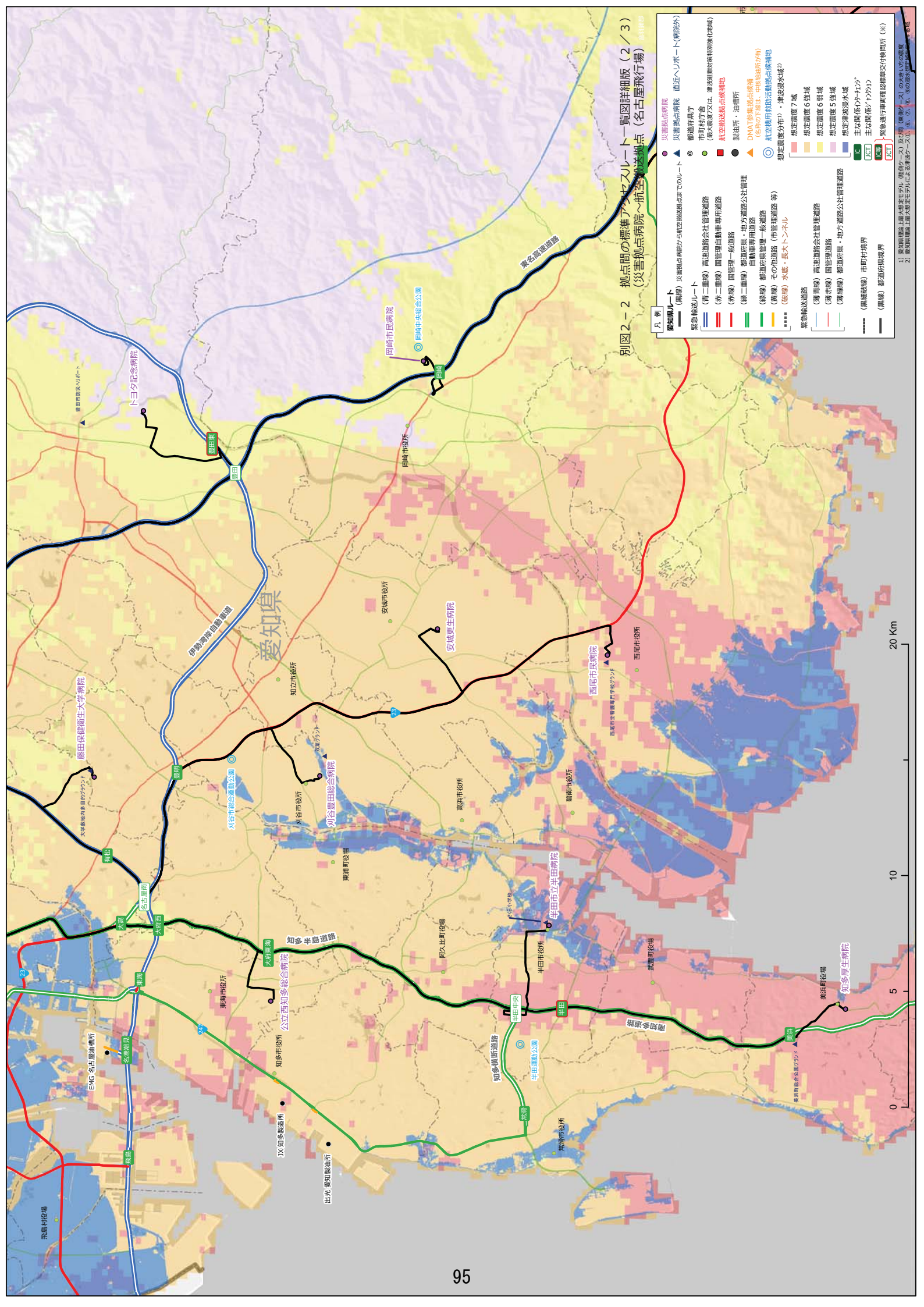


別図2-1 拠点間の標準アクセスルート一覧図
(災害拠点病院～航空搬送拠点(名古屋飛行場))



- 凡 例**
- 緊急輸送ルート**
 (青二重線) 高速道路会社管理道路
 (赤二重線) 国管理自動車専用道路
 (青線) 国管理一般道路
 (赤線) 国管理一般道路
 (緑二重線) 都道府県・地方道路公社管理自動車専用道路
 (緑線) 都道府県管理一般道路
 (黄線) その他道路(市管理道路等)
 (細線) 水底・長大トンネル
- 緊急輸送道路**
 (薄青線) 高速道路会社管理道路
 (薄赤線) 国管理道路
 (薄緑線) 都道府県・地方道路公社管理道路
- 緊急輸送ルート**
 (黒線) 市町村境界
 (黒線) 都道府県境界
- 災害拠点病院**
 ● 災害拠点病院
 ○ 災害拠点病院 直近ヘリポート(病院外)
- 航空搬送拠点**
 ● 名古屋飛行場
- その他**
 ● 市町村庁舎
 (最大震度又は、津波到達予測特別強化地域)
 ● 航空搬送拠点候補地
 ● 製油所・油槽所
 ● DMAT駐留拠点候補(名称の下欄は、中核拠点所有)
 ● 航空機用補助活動拠点候補地
 ● 想定震度分布・津波浸水域?
- 想定震度**
 ● 想定震度7域
 ● 想定震度6強域
 ● 想定震度6弱域
 ● 想定震度5強域
 ● 想定震度5弱域
 ● 想定津波浸水域
- 境界**
 (黒線) 市町村境界
 (黒線) 都道府県境界
- 緊急運行時情報提供先(待機所)※**
 ● 待機所

1) 震知度上(最大震度7)及び同(震知度5)の大きい方の震度
 2) 震知度上(最大震度7)による津波浸水域



別図2-2 拠点間の標準アクセスルート一覧図詳細版(2/3)
(災害拠点病院～航空拠点送達拠点(名古屋飛行場)方面)

凡例

災害拠点病院
 ● 災害拠点病院 (病院外)
 ◎ 災害拠点病院 直近ヘリポート(病院外)

緊急輸送ルート
 (赤二重線) 高速道路会社管理道路
 (赤二重線) 国管理自動車専用道路
 (赤線) 国管理一般道路
 (緑二重線) 都道府県・地方道路公社管理自動車専用道路
 (緑線) 都道府県管理一般道路
 (黄線) その他道路(市管理道路等)
 (黄線) 水底・長大トンネル

航空拠点送達拠点
 ● 航空拠点送達拠点
 ▲ DNAT 参集地点候補
 (各々の下は、中核施設が有り)
 ◎ 航空機用救急医療拠点候補地
 (想定高度分布)・津波浸水域?

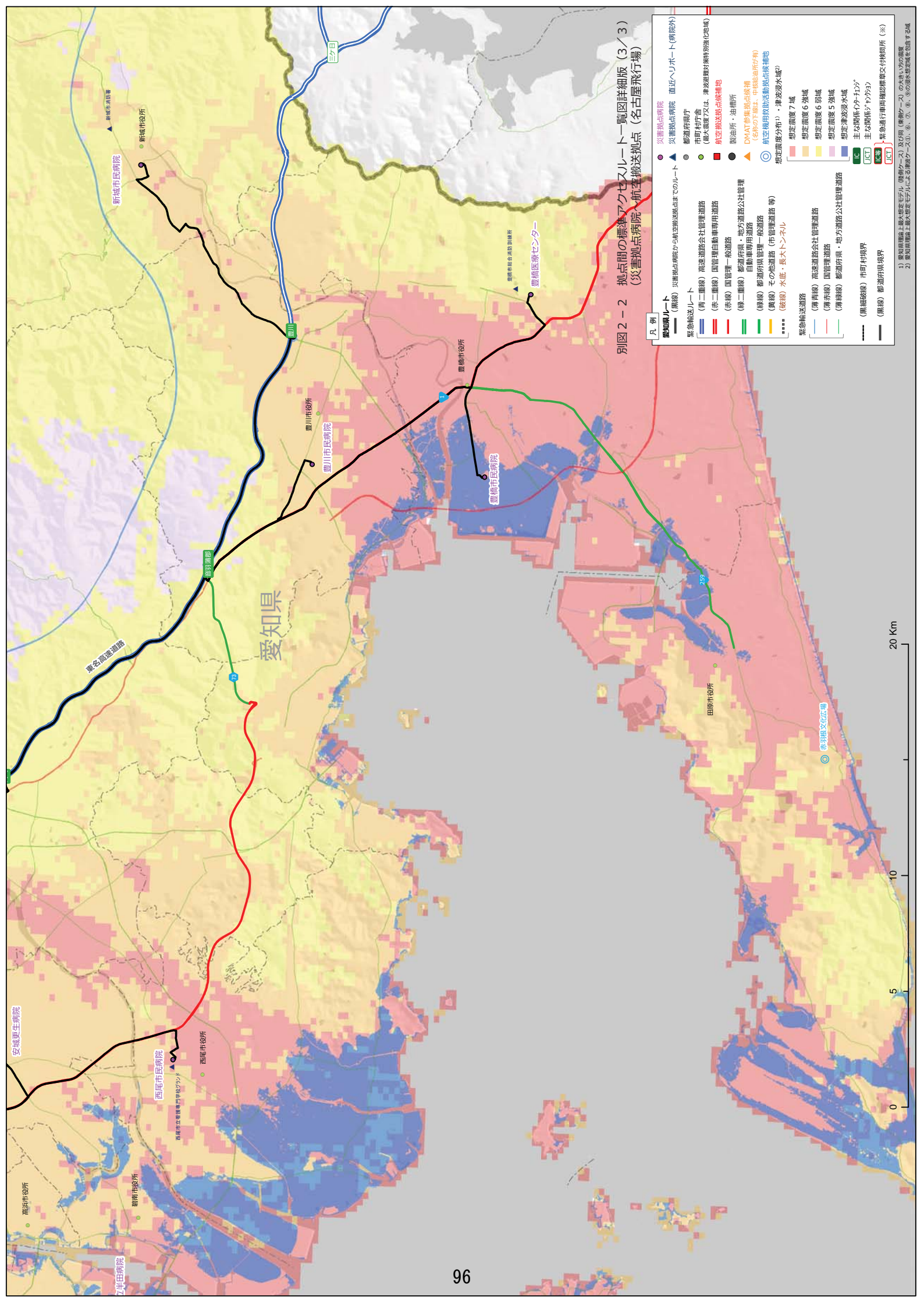
緊急輸送ルート
 (薄青線) 高速道路会社管理道路
 (薄赤線) 国管理道路
 (薄青線) 都道府県・地方道路公社管理道路
 (薄赤線) 都道府県管理一般道路
 (黒線) 市町村境界
 (黒線) 都道府県境界

想定高度
 想定高度 7 域
 想定高度 6 強域
 想定高度 6 部域
 想定高度 5 強域
 想定津波浸水域
 想定津波浸水域

IC 主な関係機関
 IC1 緊急運行車両確認センター
 IC2 緊急運行車両確認センター

1) 緊急輸送ルート(赤二重線)及びIC(緊急運行車両確認センター)は、IC1、IC2の範囲内を走行する。IC1、IC2の範囲外を走行する場合は、IC1、IC2の範囲内を走行するルート(赤二重線)及びIC(緊急運行車両確認センター)を利用する。

2) 緊急輸送ルート(赤二重線)及びIC(緊急運行車両確認センター)は、IC1、IC2の範囲内を走行する。IC1、IC2の範囲外を走行する場合は、IC1、IC2の範囲内を走行するルート(赤二重線)及びIC(緊急運行車両確認センター)を利用する。



別図2-2 拠点間の標準アクセスルート一覧図詳細版(3/3)
(災害拠点病院・航空機送拠点(名古屋飛行場))

●	災害拠点病院
▲	災害拠点病院 直近ヘリポート(病院外)
◎	市町村庁舎 (緑丸大面積7又は、津波避難対策強化地域)
●	船舶所・油槽所
▲	DMAT多機能拠点候補 (多目的な施設、中核施設等)
◎	航空機用救助活動拠点候補地
●	想定震度分布①・津波浸水域②

20 Km

10

5